

# 板橋区スマートスクールプロジェクト【板橋区立学校 教育ICT活用指針】の改定について

令和7年2月  
教育委員会事務局 指導室  
教育委員会事務局 教育支援センター

## 改定の要点

Society5.0時代の到来により社会が劇的に変化中、答えのない問いに対応できる子どもたちの資質を育むためには、教師中心の一斉指導から子ども主体の授業へ転換し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることが重要である。そのためにはICTは学校教育において不可欠なものとなっており、一人一台端末の活用をさらに進めていくことが求められる。

文部科学省が示す「NEXTGIGA(GIGAスクール構想第二期)」で求められる取組を踏まえ「いたばし学び支援プラン2025」に掲げる「学びの循環」に基づき「板橋区スマートスクールプロジェクト」を改定する。

この改定により、ネットワーク統合を進めるとともにクラウドツールやデータ連携基盤を活用した校務DX化や教員の利便性向上、働き方改革を進め、「学びの循環」をめざした授業革新を実現するための環境整備を行っていく。

## めざす姿

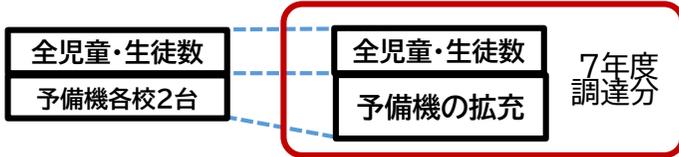
- ①多様な学びを保证する端末整備**  
学校に配備する予備機を増設し、故障等にも迅速に対応できる運用とし、子どもたちがいつでも、どこでも自律的な学習や他者と協働して学びを広げ深める環境を整備する。
- ②ネットワーク統合による利便性の向上と校務DXの推進**  
校務系と学習系のネットワークを統合することで、利便性の向上等を図り、教員の働き方改革を進めていく。
- ③児童・生徒一人ひとりに応じた学び**  
ICTを活用した多様な学びの充実や校務や学習に関するデータの分析等により、児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導につなげる。

## 構成と主な取組

- 第1部 教育のDXに向けて（これまでの取組と成果、今後の整備の方向性とめざす姿）
- 第2部 授業革新編（教育DXに向けた授業革新の取組、一人一台端末の利活用方策）
- 第3部 環境整備編（一人一台端末の更新やネットワークの整備、校務DXに関する計画）
- 第4部 資料編（本指針の内容に関する資料）

## めざす姿① 多様な学びを保证する端末整備

児童・生徒一人ひとりが「いつでも、どこでも」自律的な学習や他者と協働して学びを広げ深めることのできる環境を維持するため、一人一台端末の更新時には故障対応を見込み、十分な予備機を配備していく。



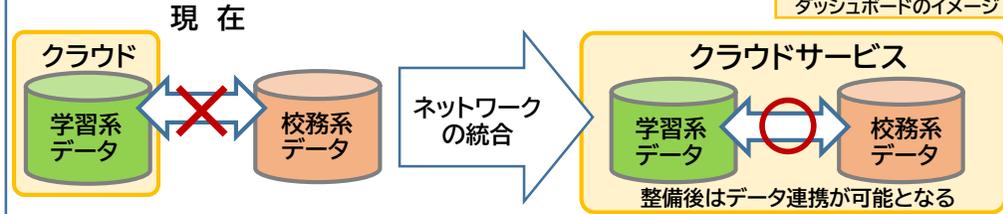
## めざす姿②

## 校務DX化

ネットワークを統合し、校務系と学習系のデータ連携を可能とする。情報の可視化や分析・活用するための、ダッシュボード機能を整備する。



ダッシュボードのイメージ



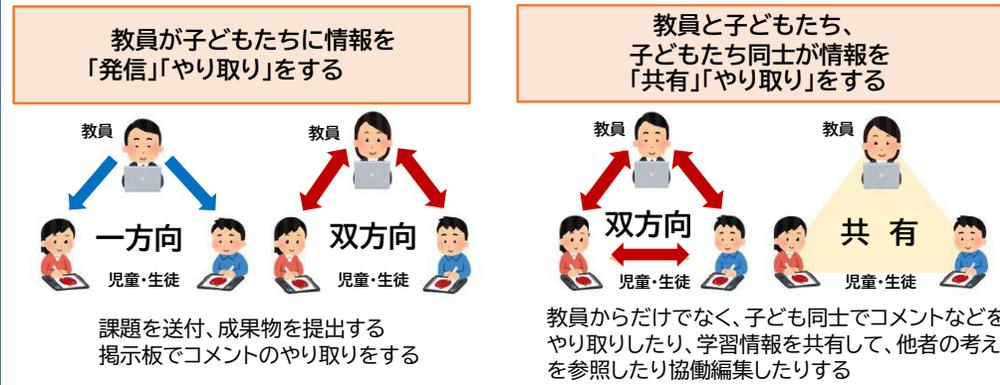
教員が使用しているパソコン2台を1台に統合し、さらにロケーションフリーで使用可能とする。



## めざす姿③

## デジタルを活用したこれからの学び

児童・生徒が一人ひとりの興味や課題意識に基づき、他者と協働しながら、自ら見通しをもって自律的に学習を進めていく授業をめざす。



校務系と学習系のデータ連携により、情報の可視化や分析を行ったものをダッシュボード機能を用い、児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導につなげる。